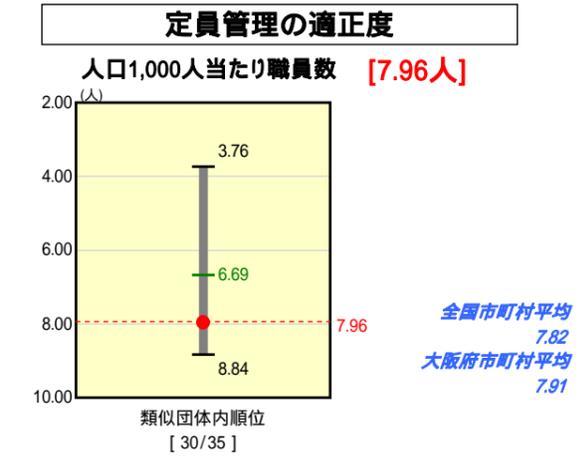
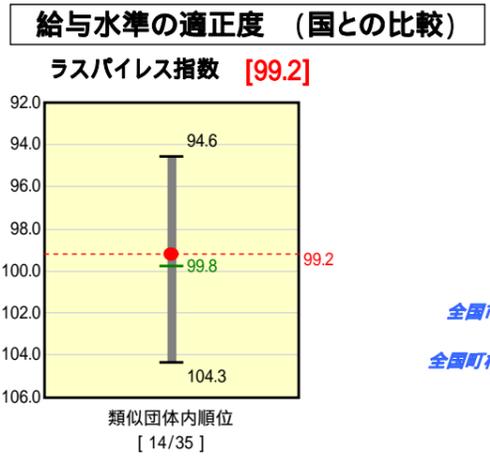
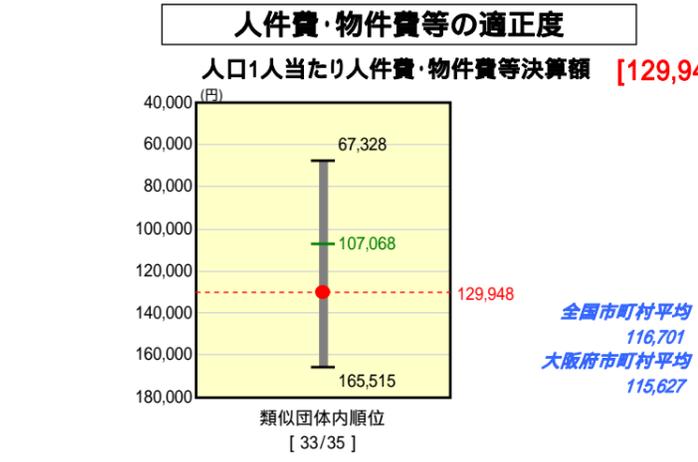
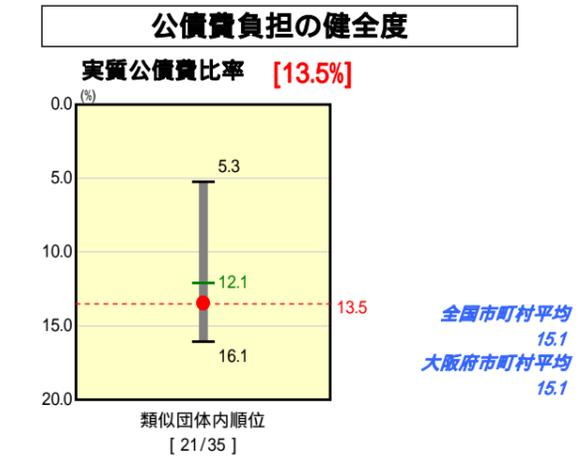
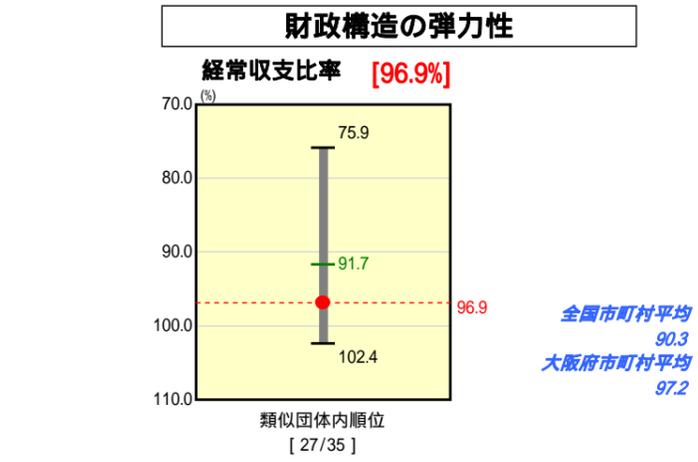
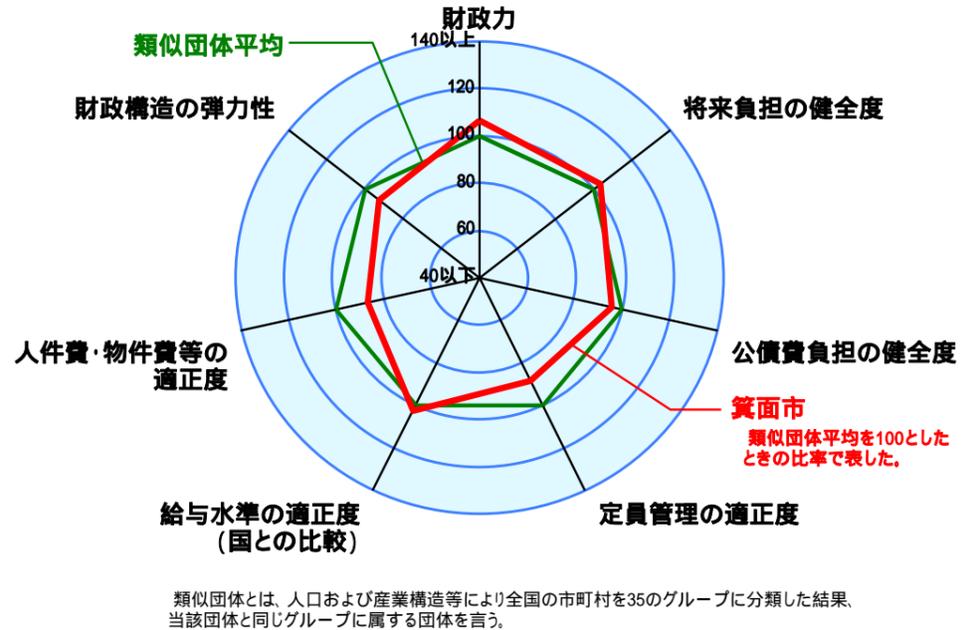
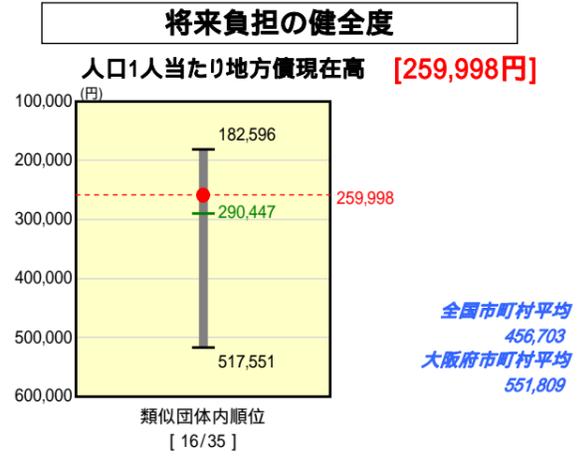
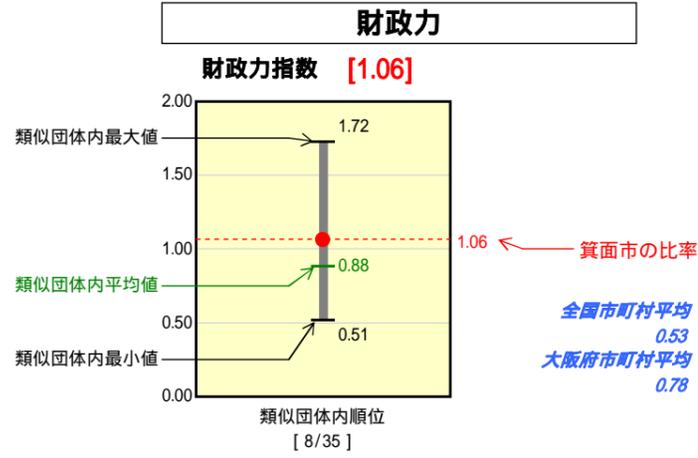


# 市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

## 大阪府 箕面市

人口	124,946	人(H19.3.31現在)
面積	47.84	km <sup>2</sup>
歳入総額	40,206,161	千円
歳出総額	38,659,939	千円
実質収支	1,222,044	千円



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

- 1. 財政力指数**  
市民税、固定資産税の担税力が強く、類似団体平均を上回る税収があるため1.06となったが、前年度からは0.01ポイントの減となっており、今後も少子高齢化の進展などによる税収の減少や社会保障関連経費の増加が見込まれることから、引き続き歳入の確保と歳出の見直しによる財政基盤の強化に努める。
- 2. 経常収支比率**  
人件費、扶助費等の経常経費が増加したが、公債費が減少し、また、市税等の経常一般財源が増加した結果、前年度から0.3ポイント改善した。しかし、類似団体平均を上回っていることから、集中改革プランに基づき引き続き経常経費の削減に努める。
- 3. 人口1人当たり人件費・物件費等決算額**  
図書館等の公共施設を多く設置するなど充実した公共サービスを提供しているため、類似団体平均を上回っている。今後も民間委託を進めるなどして、サービスの質を維持しつつコストの削減に努める。
- 4. ラスパイレス指数**  
平成12年度から、給与カット、人勤に基づくマイナス改定等による給与適正策を実施し、さらに平成18年度から全職員の給料月額を3%カットする等の施策を実施したため、類似団体平均及び国水準を下回った。引き続き、総人件費の抑制と併せて給与水準の適正化に努める。
- 5. 人口1人当たり地方債現在高**  
市債発行の抑制により、平成15年度をピークに市債現在高は減少しており、類似団体平均を下回っている。今後も事業を適切に取捨選択するなどして新規発行債を抑制し、財政の健全化を図る。
- 6. 実質公債費比率**  
平成18年度半年度の比率は、償還経費の減少等により前年度から0.8ポイント改善したが、過去3年平均の比率は類似団体平均を上回っていることから、引き続き、事業の最適な取捨選択等により起債に過度に依存しない財政運営に努める。
- 7. 人口1,000人当たり職員数**  
平成8年度以降、職員定員適正化計画に基づき、平成17年度まで職員数の削減(9年間で15.6%)に努めてきたが、新たに集中改革プランに基づき、平成17年度の職員数を基準に、平成22年度までに100名(6.6%)の削減に取り組む。